

要望しています

～ 笠岡市の未来のために～

令和4年度
決算認定要望事項

9月定例会では、令和4年度笠岡市一般会計等の決算の審査を行いました。審議の結果、「令和4年度笠岡市一般会計歳入歳出決算ほか7件の決算認定について」は、全会一致で認定し、以下の要望事項を付けることになりました。要望に対して市がどう取り組んでいるのかは、定例会ごとに市から進捗状況を報告してもらい、議会がチェックしています。

高齢者タクシーチケット助成事業補助金について

チケット利用時の枚数制限を撤廃し、チケットを使いやすい制度に改めるとともに、慢性的なタクシードライバー不足解消についても検討課題とし、タクシー事業者、市民の双方にメリットがあり、円満な関係を構築していただきたい。また、タクシー以外の公共交通についても市民の利便性を考慮し、きちんと確保できるよう全体計画の中で、検討を進めていただきたい。

離島振興事業委託料等について

委託事業については、事業の目的及び事業効果等が明確になるように努めていただいているところであるが、委託料については中身がより詳細にわかるように積算についても細かく明記し、事業の見直しに向けてのチェック体制が十分に機能する環境を整えていただきたい。また、事業本来の目的を今一度明確にし、事業のあり方についてしっかり検討していただきたい。

小中一貫校整備事業について

小中一貫教育については否定するものではないが、学校規模適正化計画を踏まえ、一旦立ち止まって、市内全体の学校再編についての見直しを含め、事業を再検討していただきたい。

ふるさと納税推進事業について

事業の中身について外部から検証ができないのは問題があると考えます。お金の流れについて透明性を確保できるよう、監査委員によるチェック体制を構築していただきたい。

広域交通結節拠点周辺開発・整備構想検討事業について

この事業結果を受けて、どのような形で土地利用を進めていくのか市としての方向性が見えない。早急に市としての方向性を打ち出し、地域の発展につながるよう、市を挙げて取り組んでいただきたい。